

## ひょうごんテック 2006 年度事業計画

### 【2006 年度の方針】

2006 年度を、『ひょうごんテック』の事業を確固なものとするための**基盤づくり**の時期と位置づける。

これまで成果をあげてきたメンテナンス事業の定常運用を目標とし、併せてミッション実現に必要なさまざまなネットワークづくりに取り組むものとする。

『木口ひょうご地域振興財団』からの大型助成の最終年でもあるので、活動には優先順位をつけ、計画的に遂行していき、この数年の展望を事業、運営面ともに切り拓くことを目指す。

本年の事業骨子となる主な項目は以下のとおりである。

1. 基盤づくり（ネットワーク）事業
2. メンテナンス（導入・保守）事業
3. 情報発信支援（ウェブ制作）事業
4. その他の事業
  - a) 在住外国人のための UP（アップ）プログラム  
（在住外国人 IT 講習事業、以下 MSUP プログラム）
  - b) リユース
  - c) 各種講座
  - d) 講師派遣
  - e) その他

### 1. 基盤づくり（ネットワーク）事業

2006 年の**基盤づくり**の主項目は、1) NPO 等の IT に関するニーズ把握、2) 『ひょうごんテック』に関わるクライアント・会員・各分野で協力可能な団体・企業とのネットワーク作り、3) スタッフ・協力者の働きやすい環境とバックアップ体制の整備の三点である。

各項目の具体的な計画遂行については、担当する責任者を決め、スケジュール進行等は定期的に運営委員会で報告、検討するものとする。細目は以下のとおりである。

- 1) NPO 等の IT に関するニーズ把握
  - ・的確な支援のために、ニーズ聞き取り調査を行う。
- 2) 『ひょうごんテック』に関わるクライアント、会員、各分野で協力可能な団体・企業とのネットワーク作り
  - ・ネットワーク作りについては、まず『ひょうごんテック』ホームページを定期的に更新する。また ML、SNS、ブログなどを使って、スタッフ個々のネットワークを活用していく。

- ・『ひょうごんテック』をアピールするために、ICT 活用のメリットが大勢の人にわかるようなイベントを実施する。
  - ・全体会を定期的実施する。
  - ・『たかとりコミュニティセンター』、『ひょうご市民活動協議会 (HYOGON)』などと今後とも協力関係を維持していく。
- 3) スタッフ・協力者の働きやすい環境とバックアップ体制の整備
- ・支援活動を円滑に実施できる事務局運営体制を整える。
  - ・将来の公開を視野に入れ、各種ノウハウ・無料ツール、支援技法についての情報を団体として蓄積していき、可能であれば外部への発信をおこなう。
  - ・依頼された作業においての事故(機器、データの消失など)をカバーする。NPO 保険等に加入する

## 2. メンテナンス事業

- ・基本路線については継続する。
- ・クライアントのニーズに応じたサービスができるよう検討する。
- ・メンテナンスに関わる人材(サポーター)を育成する。
- ・担当者が代わっても対応できるよう文書化する。

## 3. 情報発信支援(ウェブ制作)事業

- ・協力依頼時に作業人員がいれば対応する。
- ・関係にある団体と連携していく。
- ・CMS(コンテンツ・マネージメント・システム)活用を視野に入れる。

## 4. その他の事業

### a) MSUP プログラム

- ・これまでの実績を活かし、当事者団体と連携した少人数の講座を重視する。さらに大きなイベントで IT 体験ブース出展を行い、最終的に詳細な報告書の提出まで行う。
- ・新たな試みとして、受講者が集えるパソコンサロン、学生ボランティアの活用等を検討する。

### b) リユース

- ・協力関係にある団体と連携し、ニーズに応じて実施を検討する。

### c) 各種講座

- ・ニーズやリクエストに応じて実施を検討する。

### d) 講師派遣

- ・『ひょうごんテック』のミッションにかない、基盤づくり(ネットワーク)事業に役立つと考えられるものを選択する。

この『ひょうごんテック 2006 年度事業計画』は、2006 年 5 月 28 日の総会で『案』として提出され、事務局で修正、再構成された後、7 月 13 日の運営委員会で承認されました。